

# 安全データシート

作成: 2023年 8月 2日

## 1. 製品及び会社情報

整理番号 : KF127-01  
製品名 : ミギワ20フロアブル  
会社名 : クミアイ化学工業株式会社  
住所 : 東京都台東区池之端 1-4-26  
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課  
電話番号 : 03-3822-5180  
FAX番号 : 03-3823-6830  
緊急連絡先 : 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)  
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類  
環境に対する有害性 水生環境有害性 短期 (急性) : 区分3  
水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分3

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示: 該当なし

注意喚起語: 該当なし

危険有害性情報

- ・水生生物に有害
- ・長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

- ・環境への放出を避けること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名／一般名:

2-[2-(7, 8-ジフルオロ-2-メチルキノリン-3-イルオキシ)-6-フルオロフェニル]プロパン-2-オール／一般名: イプフルフェノキン

成分及び含有量: イプフルフェノキン 20.0%

<その他> 水、界面活性剤等

官報公示整理番号: 安衛法 8-(1)-4405 イプフルフェノキン

CAS No.: 1314008-27-9 / イプフルフェノキン

### 4. 応急措置

応急処置

吸入した場合:

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合:

汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察／手当てを受けること。

眼に入った場合:

水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合:

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

無理に吐かせないこと。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療:

対症的に治療すること。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤:

- 霧状の水
- 粉末消火剤
- 泡消火剤
- 炭酸ガス消火剤

使ってはならない消火剤:

情報なし

火災危険性:

加熱により毒性・有害性ガスを発生する。

消火方法:

- 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
- 消火作業は風上から行う。
- 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。
- 移動できない場合、容器に放水し、冷却する。

消火を行う者の保護:

加熱により毒性・有害性ガスを発生する可能性があるため、自給式呼吸器を含む消火保護具を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

- 作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8.ばく露防止及び保護措置」を参照の事。
- 人を退避させ、飛散・漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」の措置を行う。
- 眼、皮膚、衣類につけないこと。
- ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 風上から近づく。
- 十分な換気を確保する。

環境に対する注意事項:

排水溝または水路への侵入を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

- ウエス、スコップ等でできるだけ空容器に回収する。必要なら砂等をまいてできるだけ回収する。
- 漏出物が河川・用水路に流れないように注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

### 技術的対策:

「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

### 安全取扱注意事項

作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8.ばく露防止及び保護措置」を参照の事。

取扱い後はよく手、顔を洗うこと。

眼、皮膚、衣類につけないこと。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

### 接触回避

「10.安定性及び反応性」を参照のこと。

## 保管:

### 安全な保管条件

日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。

強力な酸化剤、強塩基から離して保管する。

### 安全な容器包装材料

情報なし。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### イプフルフェノキン

管理濃度: 設定されていない

許容濃度: 第3種粉じん: 吸入性粉塵 2 mg/ m<sup>3</sup>、総粉塵 8 mg/ m<sup>3</sup> (2021年度)日本産業衛生学会

### 設備対策:

屋内使用の場合、装置を密閉化し、局所排気装置又は全体排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、シャワー・洗眼器を設置する。

## 保護具

### 呼吸用保護具:

有機ガス用防毒マスク

### 手の保護具:

ゴム・塩ビ等の不浸透性手袋

### 眼の保護具:

ゴーグル

### 皮膚及び身体の保護具:

材質を特定しないが、長袖・長ズボン。つなぎ服の着用を推奨する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 類白色粘稠懸濁液体
臭い	: 弱い特異臭
pH	: データなし
融点／凝固点	: データなし
沸点	: 100 °C
引火点	: 引火点なし
自然発火点	: 自然発火点なし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: 1.06 - 1.12 (20 °C、代表値 1.09)
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限界／可燃範囲	: データなし
粘性率	: 300 - 1,100 mPa.s (20 °C)
動粘性率	: データなし
粒子特性	: 粒径分布: $\leq 10 \mu\text{m}$ (d50)

#### 10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし。
化学的安定性	: 通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 情報なし。
避けるべき条件	: 直射日光。熱。高温。
混触危険物質	: 強力な酸化剤。強塩基。
危険有害な分解生成物	: 加熱によって次のものを生成する。一酸化炭素。二酸化炭素。窒素酸化物( $\text{NO}_x$ )。硫黄酸化物。フッ化水素。

#### 11. 有害性情報

急性毒性(経口): 区分に該当しない
ラット(♀) $\text{LD}_{50} > 2,000 \text{ mg/kg}$
急性毒性(経皮): 区分に該当しない
ラット $\text{LD}_{50} > 2,000 \text{ ml/kg}$

急性毒性(吸入): 区分に該当しない(分類対象外) (気体)

分類できない(蒸気)

分類できない(粉じん、ミスト)

ラット LC<sub>50</sub> > 1.6 mg / l (4時間)(粉じん/ミスト)

イプフルフェノキン:

ラット LC<sub>50</sub> > 5.06 mg / l (4時間)(粉じん/ミスト)

皮膚腐食性/刺激性: 区分に該当しない

皮膚刺激性なし(ウサギ)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分に該当しない

刺激性なし(ウサギ)

呼吸器感作性: 分類できない

皮膚感作性: 区分に該当しない

皮膚感作性なし(モルモット)

生殖細胞変異原性: 分類できない

イプフルフェノキン: Ames 試験: 陰性、染色体異常試験: 陰性、小核試験: 陰性(マウス)、  
Cytogenetic test (マウスリンフォーマ): 陰性、コメットアッセイ (ラット、マウス): 陰性

発がん性: 分類できない

イプフルフェノキン: 陰性(ラット)、陰性(マウス)

生殖毒性: 分類できない

イプフルフェノキン: 繁殖毒性: 陰性(ラット)、催奇形性試験: 陰性(ラット、ウサギ)

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 分類できない

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 分類できない

イプフルフェノキン: NOAEL(ラット) 4.84 mg/kg/day (♂)、6.76 mg/kg/day (♀) (2年)、  
NOAEL(マウス) 24.8 mg/kg/day (♂)、29.5 mg/kg/day (♀) (1.5年)

誤えん有害性: 分類できない

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性):水生生物に有害

下記のデータから区分3とした。

水生環境有害性 長期(慢性):長期継続的影響によって水生生物に有害

下記データ及び混合物の関連成分全てについて、分解性に関する有用なデータが得られないため、区分3とした。

生態毒性

魚類:コイ LC<sub>50</sub> 35 mg/l (96hr)

甲殻類:ミジンコ EC<sub>50</sub> > 50 mg/l (48hr)

藻類:ErC<sub>50</sub> > 50 mg/l (72hr)

藻類 慢性:NOEC 20 mg/l (72hr)

残留性・分解性:データなし

生体蓄積性

イプフルフェノキン:

BCF - 魚 80.4

n-オクタノール/水分配係数(Log Pow) 3.89(フラスコ振とう法、25 °C)

土壌中の移動性:データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性:分類できない

オゾン層への影響:モントリオール議定書に指定された物質を含有しない。

その他の有害な影響:蚕に対して影響を及ぼすので、養蚕で使用する桑葉にかからないよう注意する。

## 13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて薬液を調製し、使い切る。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後処分する。

## 14. 輸送上の注意

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 : 非該当

国連番号 : 非該当

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合はそれぞれの該当法律に従う。

#### 15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第24408号 (日本曹達株)

消防法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)

: 非該当

毒物劇物取締法 : 非該当

#### 16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法

2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針  
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会

3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会

4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

5) 日本曹達株式会社 ミギワ20フロアブル 安全データシート  
(2022年5月10日改訂版)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター



大 阪（年中無休、24時間） 一般市民向け相談電話（無料） 072-727-2499

医療機関専用有料電話 072-726-9923

つくば（毎日9時～21時） 一般市民向け相談電話（無料） 029-852-9999

医療機関専用有料電話 029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料（1 件 2,000 円）は弊社が負担 いたします。